

第26 パッケージ型消火設備

パッケージ型消火設備の設置及び維持に関する基準は、「パッケージ型消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準を定める件」（平成16年消防庁告示第12号。以下「12号告示」という。）に定めるほか、次によること。

1 設置することができる防火対象物の要件の取扱いについて

12号告示に規定される「火災のとき煙が著しく充満するおそれのある場所」以外の場所については、次によるものであること。◆

- (1) 使用形態が、自動車の修理場、駐車場、発電室、変電室、ボイラー室、乾燥室、通信機械室及び指定可燃物貯蔵・取扱所その他これらに類するものではないこと。
- (2) 火災の際、煙が有効に排除でき安全に初期消火を行うことができるとともに、避難時には、主要な避難口を容易に見通すことができ、又は当該開口部から避難できる場所であること。

2 設置方法

- (1) 地震等により倒れないように堅固に設置すること。
- (2) 周囲には、障害物等がなく円滑な操作等が行えること。

3 表示等

- (1) 格納箱には、操作手順を示す絵表示等が貼付されていること。◆
- (2) 格納箱に設ける赤色の灯火にあっては、取付け面と15度以上の角度となる方向に沿って10m離れたところから容易に識別できること。
- (3) 赤色の灯火の電源は、配電盤又は分電盤からの専用回路とすること。

